



# 新年のご挨拶

病院長 寺坂 薫

皆様あけましておめでとうございます。  
本年も宜しくお願い致します。



2019年は新しい元号「令和」となりました。「令和」という言葉は、日本最古の歌集「万葉集」の“梅花の歌”から採用されました。これは、万葉集にある「初春の令月にして、気淑（よ）く風和ぎ、梅は鏡前の粉（こ）を披（ひら）き、蘭は珮後（はいご）の香を薫（かをら）す。」見事に 咲き誇る梅の花のように一人ひとりが明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたいとの願いを込め、決定されたそうです（日本経済新聞 2019年4月2日号より引用）。

さて、今年（2020年）は、いよいよ、第32回オリンピック競技大会開会、東京2020パラリンピック競技大会が開催されます。これらの大会には3つの基本コンセプトがあります。

- ① **全員が自己のベスト**（すべてのアスリートが最高のパフォーマンスを発揮、自己ベストを記録できる大会を実現。すべての日本人が世界中の人々を最高の「おもてなし」で歓迎）
- ② **多様性と調和**（あらゆる面での違いを肯定し、世界中の人々が多様性と調和の重要性を改めて認識し、共生社会をはぐくむ契機となるような大会）
- ③ **未来への継承**（成熟国家となった日本が、今度は世界にポジティブな 変革を促し、それらをレガシーとして未来へ継承）

これらのコンセプトは現在の医療、介護、福祉の世界でもそのまま通用するのではないのでしょうか？

- ① 医療、介護、福祉の我々スタッフはもちろんの事、病気の患者さんも全力で病気と闘い、スタッフは最高のおもてなしの気持ちで、患者さんに寄り添っていく。また、ITなど出来る限りのデバイスを利用し、患者さんの状態、病院の経営も含め分析、検討し対応を考える
- ② 全ての患者さん（ご高齢の方、障害を持つ方、いろいろな考えを持った方など）を肯定し、最高の医療を実践する
- ③ 少子高齢化、超高齢化と成熟国家になった日本が医療、介護のノウハウを世界に発信していく

当院でも全ての患者さんの気持ちに寄り添いながら、ベストを尽くし、おもてなしの気持ちで対応していきたいと思っております。

全国の医療・介護・福祉の体制が充実し、「市民が安心して暮らせる医療」が維持されるように本年も努力していきますので宜しくお願い致します。

# 院内災害医療救護訓練を実施しました

令和元年10月19日(土)、院内災害医療救護訓練を実施しました。当日は、「震度6弱の呉市直下型地震が発災した」との想定で、呉市消防局にもご協力いただき、当院職員、看護専門学生200名以上が参加し、訓練を行いました。

一昨年の西日本豪雨災害、昨年の台風19号と、どこでいつ災害が起こるかわかりません。災害拠点病院としての役割を十分に果たすために、当院では今後も定期的に訓練を継続していきます。



## —病院の理念—

高度良質の医療  
最善の奉仕  
研鑽と協調  
地域医療の支援

## —病院の基本方針—

- 一 良質で、適切な医療の提供に努めます
- 二 患者様の権利を尊重し、満足・安心・信頼を追求します
- 三 新しい知識と技術を積極的に習得し、常に質の高い先進的医療を行います
- 四 地域の中核病院として、地域社会の要請に応える医療を提供します
- 五 職員が意欲を持って働ける病院をめざします
- 六 次代を担う有能な医療従事者の育成をめざします
- 七 専門的ながん医療の提供に努めます
- 八 国内での医療救護活動に積極的に参加します

## —患者さまの権利—

- 一 個人の尊厳は尊重されます
- 二 平等な医療を受ける権利を有します
- 三 最善の医療を受ける権利を有します
- 四 自己の病状や治療等について知る権利を有します
- 五 自己の診療については、検査・治療の内容等について十分な説明を受け理解し、自己決定をする権利を有します

- 六 診断や治療に関して他の医師や医療機関の意見を求めることができ、その上で診療の撤回ができます
- 七 臨床試験や治験等への参加については、その内容、予想される危険性、従来の治療方法との違い等について十分な説明を受け、自己決定をすることができます
- 八 プライバシーの権利を有します

# 集中ケア看護とは??

集中ケア認定看護師 能登谷 さおり

集中ケア看護とは、主に集中治療室（ICU）で、呼吸・循環・代謝などの重要臓器の急性機能不全を起こしている重症な患者さんに対する看護ケアをいいます。具体的には、肺や心臓の病気などから人工呼吸器を装着する必要がある・からだへの負担が大きい手術後で全身管理が必要である・脳卒中で緊急治療の管理が必要である患者さんなどが主な対象になります。

集中治療室では濃厚な治療（医療）が行われるため、看護ケアのイメージが少ないかもしれません。しかし様々な治療を行う中で、その患者さんにとって「どのような体位が良いのか?」「体内の水分バランスはどうか?」「リハビリをして活動範囲を拡げる時か?それとも安静が必要な時か?」「栄養面は足りているか?」など、看護の視点での様々な観察や評価が治療内容に深く関わってきます。

また、従来は人工呼吸器を装着された患者さんは、鎮静剤の使用でほぼ眠った状態で過ごすことが多かったですが、現在は鎮静剤を調節し、出来るだけ覚醒した状態で過ごすことが推奨されています。覚醒した状態で過ごすことでリハビリが進み、人工呼吸器からの離脱が早まり、何より患者さんとご家族とのコミュニケーションがとれるようになります。患者さんの身体的苦痛を取るだけでなく、精神的な苦痛を緩和することは回復過程には重要であり、集中ケア看護の重要な役割と考えます。

そして患者さんが回復された後、できる限り元の生活に戻れるように、多職種（理学療法士・薬剤師・医療機器の管理を担当する臨床工学技士・栄養士・歯科衛生士など）と連携をとりながら、術後早期からのリハビリの開始、栄養面への介入、薬剤の調製や肺炎などの合併症予防などに取り組んでいます。

集中治療の中にあって、看護として何が出来るのか、どうすれば患者さんの病状悪化を防ぎ回復が促進出来るか、常に模索しながらケアに携わっています。



## 【 お知らせ 】今後の発行について

平素より当誌をご覧いただきまして、誠にありがとうございます。  
12月号にてお知らせさせていただきましたとおり、掲載内容を充実させるため、今後、当誌は隔月発行（奇数月）となります。ご理解の程、宜しくお願い致します。

# ～かぶら蒸し～

旬のカブを使ったレシピです



<材料> 4人分

鯛・・・4切れ  
かぶ・・・240g  
卵白・・・20g  
ぎんなん(缶詰)・・・4個  
人参・・・40g  
みつば・・・4g

.....  
かつおだし・・・120cc  
薄口しょうゆ・・・12g  
しょうが・・・適量  
片栗粉・・・4g  
酒、塩・・・少々

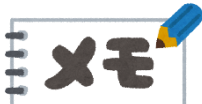
<栄養成分> エネルギー 135kcal  
タンパク質 14g  
**減塩** 塩分 1g

## <作り方>

- ① 鯛に酒と塩をする。かぶは皮をむきすりおろし軽く水気を切る。しょうがの皮を剥き、おろす。
- ② 卵白を泡立て器でしっかりと混ぜ合わせる。
- ③ ②とかぶを混ぜる。
- ④ みつばを約2cmに切り茹でて軽く水気を切る。
- ⑤ 器に鯛を並べ、③をかける。
- ⑥ ⑤の上に花形に型抜きをした人参1枚とぎんなんを乗せ、蒸し器で12～15分蒸す。  
蒸し器がない場合は深めのフライパンに2cmほど水を入れて湧かし、器ごとフライパンに入れて蓋をし、弱火から中火で12～15分蒸す。
- ⑦ 鍋にかつおだし、薄口しょうゆ、おろしたしょうがを入れ、火にかける。ひと煮立ちしたら水溶き片栗粉を少しずつ加え手早く混ぜとろみをつけ、餡を作る。
- ⑧ 蒸しあがった魚に⑦をかけ、みつばを乗せる。



餡をかける際、鯛の下半分からゆっくりかけると綺麗に餡がかかります。  
卵白をしっかりと混ぜるとふんわりと仕上がります。  
みつばは色が変わるので別で茹でて蒸しあがった後に乗せると綺麗な色が保てます。



当院ではお正月に提供しました。  
ぎんなんの代わりにゆずを乗せてもおいしく食べることができます。

※ これまで掲載しておりました「病院案内」、「各科診療担当表」は、別刷となっています。